

平成28年度第1回豊田市子ども読書活動推進協議会 議事録

日 時：平成28年6月21日（火）午後3時25分～午後4時20分

場 所：豊田市中心図書館6階多目的ホール

出席者：委員 8名

豊田市中心図書館職員（事務局）8名

関係課 生涯学習課、次世代育成課、子ども家庭課、
保育課、学校教育課

1 平成27年度事業実績及び平成28年度取組計画の報告
事務局及び関係課から報告

2 意見交換

委 員：生涯学習課の報告に各ネットワーク館でおすすめコーナーを設置しているとありました。そういった企画は中央館と連携して行っているのですか、それともネットワーク館が単独で行っているのですか？ もし中央館と連携しているのなら、今後も積極的に行っていてほしいと思います。

生涯学習課：読書マラソンなど連携して行っている事業はありますが、おすすめコーナーの設置はネットワーク館単独で行っています。

委 員：家庭での読書は子どもの健全育成に欠くことができないと思います。読書ノートには家庭で読むのにふさわしい本が紹介されていますので、今後も作成を続けていってほしいと思います。

委 員：小さな子どもには読み聞かせも必要です。私の勤務校では、月に2回、親子読書の日があります。この活動を定着させていきたいと思っています。

委 員：子ども家庭課の事業で説明のあった赤ちゃんとのふれあい体験についてうかがいます。この事業では中学生が読み聞かせを行っているのですか。

子ども家庭課：赤ちゃんとのふれあい体験は、命の大切さを学ぶ授業の一環として行っています。読み聞かせのない簡易型のものと読み聞かせを含めたものとあり、読み聞かせはボランティアの方が行っています。

委 員：私は高校に勤務していますが、高校生も活字離れが進んでいます。子どもは興味が湧かないと本を読んでくれません。逆に、いくら悪い本だと大人が言っても、子どもは興味を持てば読みます。良い本を薦めるのは難しいことですが、地道な活動を続けて、子どもたち

に良い本を提供できる図書館を目指していただきたいと思います。

会長：小学生1人あたりの1年間で平均読書冊数が56冊と増加しています。学校図書館司書の配置が効果的ということですね。

委員：司書がいれば、子どもは喜んで図書館に行くと思います。いろいろなことを相談できる人が図書館にいることが大切だと思います。